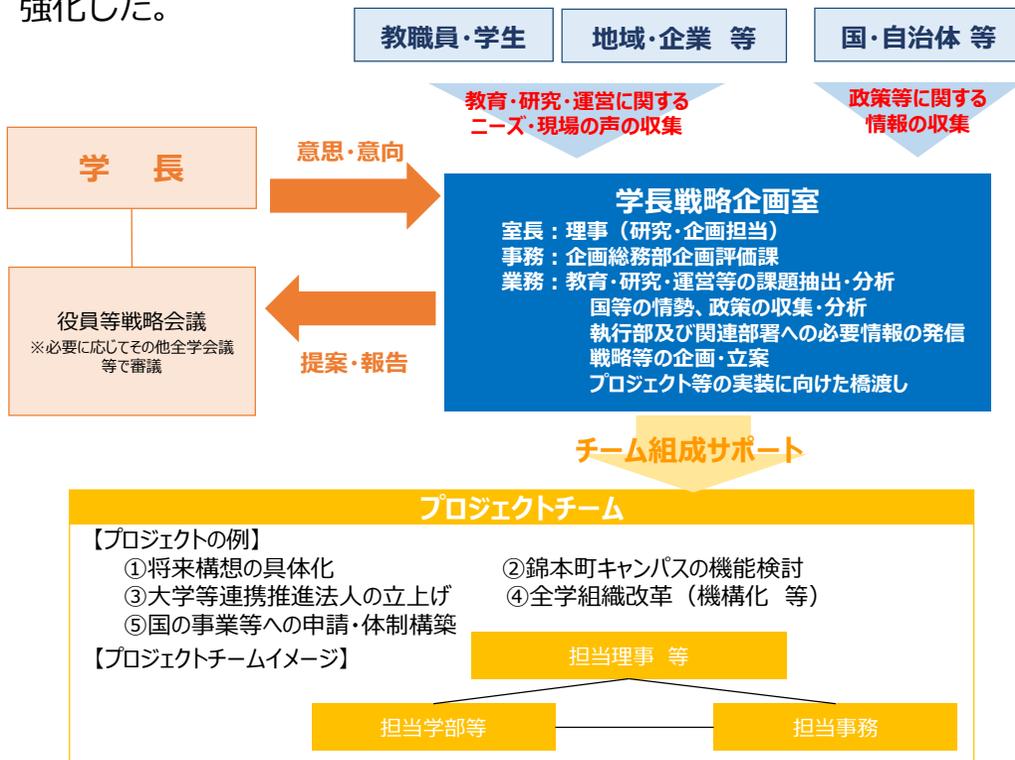


学長のリーダーシップの下、特に重点的に取り組んだ事項

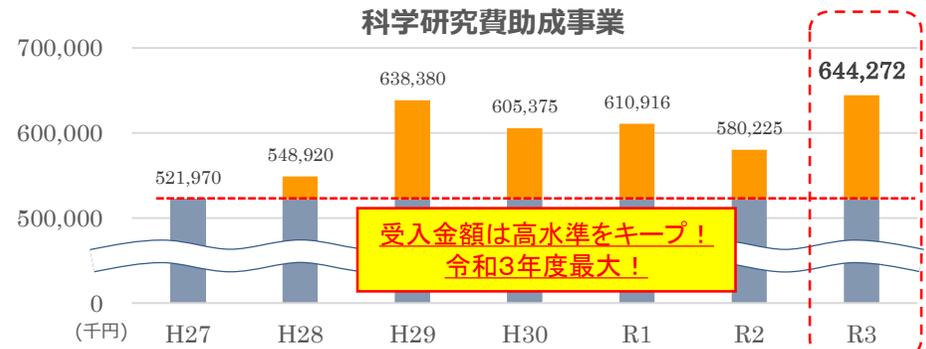
(1) 理事等の権限と責任の明確化および学長の意思決定等におけるサポート体制強化

令和3年10月から新学長の下での理事及び副学長の担当及び所掌を見直して「理事に関する規程」改正及び「副学長に関する規程」制定し、権限と責任の明確化を図った。新たに人事・基金・SDGs担当理事（副学長）、基礎教育担当副学長及び男女共同参画推進担当理事補佐を、令和4年4月には広報戦略担当理事（非常勤）を設置した。また、学長戦略企画室の体制を一新して、学長の意思決定及び大学経営・事業推進等のサポートを行い、機能を強化した。



(2) 戦略的予算配分等による外部資金獲得額の大幅な増加

本学では、学長のリーダーシップにより、平成29年度から①重点領域研究プロジェクト（生命20、農工20）における予算配分、②ミッションの再定義に関するプロジェクトへの予算配分、令和元年度からは③間接経費獲得額に応じた予算配分を実施している。さらに、「研究戦略タスクフォース」やコーディネーターと連携した外部資金獲得の推進により、第3期中期目標期間中で令和3年度の共同研究、科学研究費助成事業受入額が最も多くなった。



学長のリーダーシップの下、特に重点的に取り組んだ事項

(3) 保育園の開園

木花キャンパスでは、内閣府企業主導型保育助成事業により、株式会社宮崎エレベータサービスが「ゆにのもり保育園」を設置、令和3年11月に開園し、生後8週間から小学校就学の始期に達するまでの乳幼児（0歳から未就学児）を対象に、最大60名の定員とし、宮崎大学枠25名を設け園児を受け入れた。また、長時間の開所や日曜日・祝日の保育が可能となっており、病児保育・体調不良児保育も対応している。設置に当たっては、令和元年5月に事業用定期借地権設定契約（令和30年までの30年間）を締結し、土地貸付料として3,808千円/年の収入を得ている。

令和3年11月に開園



生後8週間から小学校就学の就学に達する乳幼児を対象に
最大60名定員（宮崎大学枠25名）



教職員等の子育てをバックアップ！

(4) バングラデシュICT技術者養成および日本語教員養成

宮崎-バングラデシュ・モデルの後継事業として、(株)新興出版啓林館の寄附講座「外国人ICT技術者人材育成講座」を運営資金（3年間で60,840千円）とし、バングラデシュNorth South University 等と連携した履修証明プログラム「外国人ICT技術者人材育成プログラム」を令和3年10月から開始した。29名が現地教育（Basic Course）を修了、うち宮崎県内の企業に就職予定の8名が宮崎大学にてAdvanced Courseを受講予定（R4.4～）である。また、令和4年度からは「宮崎-バングラデシュICT人材育成事業」としてパートタイム型の日本語教育による人材育成事業を開始する予定としている。さらに、令和元年度から実施している「宮崎大学420単位時間日本語教員養成プログラム」では、延べ43名の修了者を輩出、実施中の第3期には21名が就学しているほか、令和3年度には日本語教員養成として唯一の「文部科学省職業実践力育成プログラム（PG）」に認定されている。

